

令和6年度事業報告

1. 概 要

令和6年度は、新たに策定した事業運営の指針となる「鹿児島市シルバー人材センター第4次基本計画」（令和6年度～10年度）の初年度であり、コロナ禍後の社会経済活動の変化等に対応し、様々な事業活動に取り組みました。

会員数は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響等に加えて、65歳までの雇用確保の定着、70歳までの就業機会確保の努力義務化など高齢者の就労環境整備が進んできたことにより、全国的に2年度から減少し、下げ止まっていない状況です。

このような中、当センターにおいては、会員拡大のための各種事業を展開し、6年度の会員数は、前年度比較20人増の4,130人となり、3年ぶりに増加しました。

契約金額については、積極的な就業開拓活動等により、受託事業は、1,012,001,378円 前年度比較5,870,414円、0.6%の増、派遣事業は、897,539,389円 前年度比較62,668,919円、7.5%の増となりました。

合計では、1,909,540,767円 前年度比較68,539,333円、3.7%の増となり、過去最高の実績となりました。

就業率については、前年度比較0.1ポイント増の81.0%となりました。

令和6年度実績 前年度比較

(単位：人、件、円、%)

区 分		5 年 度	6 年 度	増 減	前年度比率
会 員 数 (年度末)	男 性	2,390	2,378	△12	99.5
	女 性	1,720	1,752	32	101.9
	計	4,110	4,130	20	100.5
契 約 件 数	受託事業	23,835	23,988	153	100.6
	派遣事業	5,150	5,357	207	104.0
	計	28,985	29,345	360	101.2
契 約 金 額	受託事業	1,006,130,964	1,012,001,378	5,870,414	100.6
	派遣事業	834,870,470	897,539,389	62,668,919	107.5
	計	1,841,001,434	1,909,540,767	68,539,333	103.7
就 業 延 人 員	受託事業	200,858	198,178	△2,680	98.7
	派遣事業	167,737	175,691	7,954	104.7
	計	368,595	373,869	5,274	101.4
就 業 実 人 員	受託事業	2,261	2,255	△6	99.7
	派遣事業	1,065	1,090	25	102.3
	計	3,326	3,345	19	100.6
就 業 率		80.9	81.0	0.1	

※就業実人員の派遣事業は、派遣就業のみ従事した人数

2. 実施事業

(1) 会員の拡大及び資質の向上

- ① 出前入会説明会を谷山地区で開催し、会員の加入促進及び就業案内を行いました。

	開催日	場所	参加者	入会者
谷山	7.2.26	谷山市民会館	14人	8人

- ② 毎週水曜日の高齢者失業認定日に「ハローワークかごしま」を訪問し、来訪者への入会促進を積極的に図りました。
- ③ 会員拡大、就業拡大を図るため、9月、1月に市広報紙「市民のひろば」に広告掲載を行い、市内全世帯に配布したほか、地元紙に7月に折込み広告、10月に支部限定チラシの折込み広告を行いました。
- ④ 県連合会が受託している高齢者活躍人材確保育成事業を活用した各種講座会場に出向き、市民への積極的な入会促進を図るとともに、既存会員に対する就業相談を行いました。

講習内容	開催月	修了者	入会者
介護施設での働き方	6月	12人	4人
店舗スタッフと店舗清掃講習	8月	6人	2人
剪定・整枝講習	1月	23人	8人
草刈り（機械刈）講習	2月	22人	3人
計		63人	17人

- ⑤ 8月から9月を「入会促進キャンペーン月間」とし、積極的な広報活動を行ったほか、この期間に入会した方と紹介した会員にも粗品をプレゼントするなど、入会促進を図りました。

また、入会者が減少する1月以降については、会費の減免措置を行うなど入会促進を図り、早期の就業につなげる取組みを行いました。

8～9月入会者 87人

1～2月入会者 117人

3月入会者 85人

- ⑥ シニア世代活躍支援セミナーを開催し、セミナー終了後に入会手続きや就労相談等を行うなど、入会促進を図りました。

期 日	講 師	開催場所	参加者	内入会者
9 / 21	東川 隆太郎 氏	勤労者交流センター	34人	23人

- ⑦ 女性限定入会説明会を開催し、女性会員向けの就業案内や女性会員の活動紹介、アンテナショップ「おじゃったもんせ」の出張販売、ひまわり劇団による演芸や化粧品会社の講師による「メイクアップ講座」を実施するなど、女性会員の入会促進に努めました。

期 日 令和6年7月25日(木)、10月31日(木)

令和7年1月23日(木)

場 所 シルバー人材センター 大会議室

参加者 49人(入会者42人)

- ⑧ 市民や会員が参加する「シルボンヌイベント体験事業」を4回開催し、センターの周知及び入会促進を図りました。

	イ ベ ント	開催日	場 所	参加者(人)		
				市民	会員	計
1	古着をリメイク! 健康布ぞうり作り	6 / 28	センター 大会議室	26	0	26
2	簡単手作りコサージュ	9 / 13		6	4	10
3	笑いヨガ講座	9 / 20		13	1	14
4	クリスマスリース・正月飾り作り	11 / 28		26	6	32
計				71	11	82

- ⑨ 年金支給日に各支部の金融機関前でチラシ配布を行うなど、支部の会員拡大に努めました。

- ⑩ 鹿児島市役所「生活・就労支援センターかごしま」内の当センター常設窓口で入会相談等を行いました。

相談受付件数 728件

- ⑪ 就業を希望しない会員については、互助会や地域活動に参加できるプラチナ会員制度の周知に努めました。

プラチナ会員登録者数 33人

- ⑫ ハローワークでの入会勧奨活動を行ったほか、引き続き会員による入会促進を図るため、正会員入会報奨金を交付しました。

交付実績 45件

- ⑬ 女性研修会を開催し、会員とその友人が参加し、センターの仕事を知ってもらうために就業写真のスライドショーを作成し案内しました。また、ひまわり劇団によるセンター紹介の寸劇や演芸、太極拳、抽選会を行いました。

参加者 106人（会員 90人 市民 16人）

- ⑭ 会員の後継者育成と技能向上を図るため、各種研修会を実施しました。

（２）就業開拓及び就業率の向上

- ① 就業推進グループによる事業所を中心とした積極的な就業開拓活動を行うとともに、グループ内の契約目標額を定め、毎月その達成状況を確認するなど、徹底した進行管理を行いました。

目 標 額 858,000,000円

実 績 額 897,539,389円

目標達成率 104.6%

- ② 総務課、業務推進課、生活・就労支援センター、ジョブコーディネーター間の連携を図り、受託・派遣に係る就業先と会員とのマッチング等を効率的に行い、就業拡大に努めました。

- ③ リピーター対策として、剪定、草刈、草取、生活支援の新規発注者（令和6年度実績）に対し、発注のお礼とセンター事業をPRするチラシを送付し、受注拡大を図りました。

送付件数 819件

- ④ センターへの仕事の発注が期待される企業・法人等に対し、発注依頼文書を送付し、連絡があった企業等を訪問するなど、重点的な就業開拓を行いました。

3月 商工会議所の広報チラシ折込み（6,400件）

- ⑤ 民生委員・児童委員等との連携による地域に根差した生活支援サービスを提供するため、サービスの担い手となる会員を養成する研修会等を開催しました。

- ⑥ 鹿児島市と連携し、市内の空き家の管理、墓掃除等のサービス提供を実施しました。

市外からの受注実績

空き家管理（剪定、草取り等含む） 735件 21,111,152円

墓守・墓掃除 139件 1,694,934円

- ⑦ 新規の就業開拓を行った会員へ報奨金を交付しました。
交付実績 30件
- ⑧ ジョブコーディネーターを配置し、未就業者等への就業案内や入会希望者へきめ細かい説明を行うなど、未就業者対策の強化及び新規入会の促進に努めました。
- ⑨ ホームページを随時更新し、常に新たな就業情報等の提供に努めたほか、入会説明会終了時、入会手続きされた方に就業案内を行うなど、就業率の向上に努めました。
- ⑩ お客様からの注文受付が24時間365日可能なインターネット申込「たすか〜る」事業を行いました。
受付件数 485件
- ⑪ 鹿児島市の指定管理者として、「東千石・山之口・中町自転車等駐車場」、「すこやかランド石坂の里」、「さくらじま白浜温泉センター」の適正管理に努めました。
- ⑫ 就業開拓にあたっては、既発注者の掘り起こしや会員の希望の多い職種等を強化するとともに、就業会員による就業先でのチラシ配布など、センター事業のPRに努めました。

(3) 安全・適正就業の推進

(安全就業の推進)

- ① 毎月1日「安全就業宣言の日」に、事故事例や交通安全の注意喚起、季節ごとの健康に関する情報等を掲載した「安全ニュース」を発行し、会員の安全就業に対する意識の啓発を行いました。
- ② 安全適正就業委員会を開催し、発生事故の原因解明や再発防止策の検討を行ったほか、賠償事故については、「会員の事故防止に資するための措置要領」に基づき、当該会員へ文書注意等の処置を行いました。
- ③ 安全就業の推進を図るため、安全適正就業委員会の委員及び職員による予告なしの安全パトロールを実施し、機械、器具等の使用上の注意や現場での留意事項について指導を行うなど事故の未然防止に努めました。
安全パトロールの実施状況 27回
- ④ 草刈作業における飛び石事故防止のため、両刃回転式刈払機「カルマー機」の使用を推奨しました。
- ⑤ 派遣の労働災害事故防止等を図るため、「派遣ニュース」を3回（7月、12月、3月）発行し、派遣就業会員に配付しました。
発行数 2,950枚発行

⑥ 派遣会員の安全と健康を保持するための衛生委員会を2回開催し、労働災害事故の検証等を行いました。

開催日 7月18日、1月30日

⑦ 高齢者による交通事故が増加傾向にあることから、派遣の運転業務に係る会員に対し、外部講師を招いた交通安全講習を実施しました。

⑧ 職群班及び各支部、合同班会等において、事故の発生状況等を報告するとともに、安全講習会を開催しました。

参加者数 職群 690人、支部 176人 計 866人

⑨ 安全意識の高揚につなげるための安全就業に関する標語募集に56点の応募があり、優秀作品6点を選定するとともに、最優秀作品については、事務所内の掲示や毎月発行の「安全ニュース」に掲載するなど、会員、職員の安全就業に対する意識啓発に活用しました。

⑩ これらの対策を講じたことにより、令和6年度の発生事故は、傷害、賠償事故合わせて受託事業が42件、派遣事業が21件 計63件となり、前年度に比べ18件減少しました。

事故発生状況 年度別推移

(単位：件)

区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	対前年増減
受託	傷 害	15	14	25	20	△5
	賠 償	26	17	20	22	2
	計	41	31	45	42	△3
派遣	傷 害	14	14	18	16	△2
	賠 償	16	8	18	5	△13
	計	30	22	36	21	△15
計	傷 害	29	28	43	36	△7
	賠 償	42	25	38	27	△11
	合 計	71	53	81	63	△18

月別事故発生状況

(単位：件)

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
受託	傷 害	3	3	2	2	4	2	1	1	0	1	1	0	20
	賠 償	1	4	0	4	2	4	2	3	1	1	0	0	22
	計	4	7	2	6	6	6	3	4	1	2	1	0	42
派遣	傷 害	1	0	1	1	6	1	1	1	1	2	0	1	16
	賠 償	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5
	計	2	2	1	1	7	2	1	1	1	2	0	1	21
計	傷 害	4	3	3	3	10	3	2	2	1	3	1	1	36
	賠 償	2	6	0	4	3	5	2	3	1	1	0	0	27
	合 計	6	9	3	7	13	8	4	5	2	4	1	1	63

事故の内訳

【傷害事故】

(単位：件)

区 分	骨 折	裂 傷	熱中症	打 撲	その他	計
受 託	5	1	4	6	4	20
派 遣	7	1	1	7	0	16
合 計	12	2	5	13	4	36

【賠償事故】

(単位：件)

区 分	剪定(接触)	草刈(飛散)	車両(物損)	その他	計
受 託	6	6	7	3	22
派 遣	0	0	2	3	5
合 計	6	6	9	6	27

(適正就業の推進)

- ① 令和6年度は、「事故の芽は 油断・慢心 気のゆるみから」をスローガンに、法令遵守はもとより「適正就業に関する基準」に基づき適正就業の推進に努めました。
- ② 職群班である駐輪駐車班、公園清掃、墓地清掃、運搬班を通じ適正就業の意識が会員へ広く浸透するよう周知を図るとともに、会員の募集にあたっては、募集要項をホームページや庁舎内に掲示したほか、ジョブコーディネーター及び生活・就労支援センターを活用して、多くの会員への周知を図りました。
- ③ 継続就業が決定した会員に対し、就業同意書の提出や就業期限確認書を交付するなど、適正就業の推進を図りました。

(4) 事業推進体制の強化

- ① 事業のより機動的・効率的業務運営を行い、さらなる事業展開を図るため、業務推進課は「業務係」と「生活支援係」を再編し、「業務第一係」「業務第二係」へ変更し、総務課は「総務企画係」と「財務係」を統合しました。また、有期雇用職員2人を無期雇用職員へ転換しました。
- ② 会員の就業相談体制（マッチング）の強化を図るため、未就業者等へのきめ細かな対応を目的とした、未就業者等割当制を実施しました。
1,471人に連絡し600人（40%）が就業
- ③ 就業開拓や事務局での電話対応、電算入力業務など、事務量の増加等に対応するため、積極的な会員活用を図りました。
- ④ 令和6年10月から、最低賃金の改定に伴い、賃金単価（派遣）の改定を行いました。
- ⑤ センターの事業運営の概況等について、地域班会等で会員へ情報提供しました。
- ⑥ 全シ事業協会、九シ連絡協議会、県シ連合会等の研修会等に役員、職員が参加するとともに、大阪市へ先進地調査を行いました。
- ⑦ 職群班の相互の連携及び情報共有を図るため、職群班統括班長会議を開催しました。

(5) 独自事業の推進

- ① 「ワンコインまごころサービス」については、市の支援を受けながら、高齢者世帯のごみ出し等のサービスを実施しました。

延利用回数（年間）

100円：10,657回

500円：251回

- ② アンテナショップ「おじゃったもんせ」では、6月「お茶ったまつり」、8月「七夕企画」、10月「お客様感謝祭」、1月「初商」のイベントを開催し、会員手作りの野菜や手芸品、賛助会員の特産品等の販売を行ったほか、「さくらじま白浜温泉感謝祭」や定時総会において、出張販売を行いました。

総売上額 5,617,031円

- ③ 年末物品販売については、毎年恒例の会員手づくりの米など多数の商品や、賛助会員からのギフト商品販売のほか、新鮮野菜等の当日販売も行いました。

販売商品数 18品目

販売額 855,350円

当日販売額 61,230円

- ④ 桜島フェリーターミナル内の「ほほえみサロン」では、センターの情報発信の場として、会員向けの講座を6回（48人参加）開催しました。

(6) 普及啓発活動の推進

- ① 入会説明会やイベント等の案内について、市広報紙「市民のひろば」、地元紙、地域情報誌、折込チラシなどを活用して積極的な広報に努めました。
- ② 求人やイベント等の情報をリアルタイムで発信するなど、ホームページによるタイムリーな広報宣伝に努めました。
- ③ センター事業や互助会活動、「おじゃったもんせ」の商品などを紹介する公式インスタグラムを定期的に更新することでセンターの広報活動を行いました。
- ④ 会員の多才な芸能や技能を活用し、福祉施設等を訪問する「ひまわり劇団」については、センターの認知度向上や地域社会に貢献することができました。また霧島市シルバー人材センター主催のシルボンヌ大会にも出演し、当センターの活動のアピールや両センターの交流を図ることができました。

活動状況 4月～2月 訪問回数 18回 訪問延べ会員数 225人

- ⑤ 当センターの事業等についての情報発信として、会報「かごしまシルバーだより」第83号（4月）、第84号（10月）を発行し、全会員へ送付しました。
- ⑥ センター活動の宣伝、啓発等を図るため、8月から9月に山形屋3階ブリッジギャラリーで、10月に鹿児島市役所東別館1階市民ギャラリーで、会員・同好会（希楽会）の作品やセンター事業の概要等を展示、紹介しました。
- ⑦ 事業案内や就業拡大のため、センターの会報誌及びチラシを市役所、各支所、高齢者福祉センター、各地域公民館等68施設に送付しました。
- ⑧ 各地域班において、清掃等のボランティア活動にのぼり旗を掲揚し、市民への啓発に努めました。

- ⑨ センター庁舎内壁面に第4次基本目標である「地域社会の担い手として身近に親しまれる、魅力あるセンター」の横断幕を作成し、掲示しました。
- ⑩ 市政広報番組「アクティブ!かごしまライフ」にて同好会（筆耕）・ひまわり劇団、「K T S ライブニュース」にて駐輪指導・管理、「NHK 情報WAVEかごしま」にて家事支援のテレビ取材を受けました。

(7) デジタル化の推進

- ① 会員への情報発信の充実を図るため、携帯電話でのショートメッセージ一括送信サービスを利用し、定時総会案内や熱中症予防等の情報提供を行いました。
- ② 受託事業における契約方法の見直しにおいて、デジタル化を進めるため、会員専用サイト「Smile to Smile」の登録への周知を行い、スマホや携帯の操作が苦手な方向けに毎月第2・第4水曜に「デジタルサポート窓口」を開設しました。

利用者数 75人

- ③ 会員向けにスマホ教室を開催し、職員や会員によるサポートを受けながら「Smile to Smile」の登録を行いました。また、専門委員会や職群班会、地域班会等において登録の呼びかけを行いました。

参加者数 6月：17人 9月：19人 11月：12人

- ④ 「Smile to Smile」による派遣就業案内等の情報提供を行いました。

(8) SDGsの取り組み

- ① 会員への就業機会の提供や会員のボランティア活動等により、高齢者の社会参加や生きがいの充実、健康の保持促進、地域社会の活性化等に寄与しました。
- ② 職員研修等を行い、鹿児島市の「かごしまSDGs推進パートナー」に登録しました。